

安芸高田市施策評価シート（平成24年度施策）

評価対象 施策名	環境保全の推進	施策コード	作成者	所属	市民部 市民生活課
		14008	役職・氏名	課長 中村慎吾	
			電話	0826-42-1126	

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	Ⅲ人と環境にやさしいまちづくり
	主要施策	4.環境との共生

① 住民意識調査結果	市民アンケートでは生活環境には概ね満足しているが、今後の取り組みの中で、自然環境・生活環境などが重要度が高い意見であった。団体・事業者では、環境問題等に関心が高かった。	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果 地球温暖化など地球規模での環境問題が深刻化するなかで、環境の保全と創造は、世界各国が共通に取り組むべき課題となっている。
③ 施策の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 本市においても、多様化・深刻化する地域の環境問題に総合的・長期的に取り組むため、環境基本計画を策定した。本計画の望ましい環境像を目指すため、重点プロジェクトを実施していく必要がある。 東日本大震災に端を発した脱原発の動きにより、再生可能エネルギーへの関心が高まり、安芸高田市でも市内の再生可能エネルギーの調査をする必要がある。 	
④ 施策の意図、今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題に関する意識啓発を図り、環境学習の充実を図る。 住民及び事業所における環境保全活動の推進を図る。 公害防止活動の推進を図る。 新エネルギー・省エネルギー普及啓発事業推進 市内の再生可能エネルギーを調査し、活用について検討する。 	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
「環境基本計画」重点プロジェクトの実施	環境基本条例の基本理念の実現を目指し、環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進	
再生可能エネルギーの調査・検討	安芸高田市内の再生可能エネルギー(太陽光・水力・風力・バイオマス等)の調査の実施と活用の検討を行う	★
公害防止対策の充実	産業公害の防止と住民の生活マナーの向上による苦情件数の削減	
新エネルギー・省エネルギー普及啓発事業推進	太陽光発電及び省エネルギーシステムの設置促進	

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27		
再生可能エネルギー調査実施	目標			1				
	実績			1	—	—		
	達成率			100.0%	—	—		
苦情に対し職員出動件数(野焼き)	目標	10	10	10	10	10		
	実績	6	11	4	—	—		
	達成率	60.0%	110.0%	40.0%	—	—		
太陽光発電システム設置	目標	100	100	120	100	100		
	実績	107	105	113	—	—		
	達成率	107.0%	105.0%	94.2%	—	—		
	目標							
	実績				—	—		
	達成率				—	—		

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H23決算	H24決算	H25予算	人員数(H24) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	550	環境基本計画実施事業	1.4.1.4.1.1	126	4,523	2,903	0.55	高い	前年度並み配分	
				126	2,723	2,903	4,546			
既存 補助金・負担金	350	新エネルギー・省エネルギー普及啓発事業	1.4.1.4.1.1	18,445	11,075	6,690	0.20	高い	重点配分	
				13,965	11,075	6,690	1,653			
既存 ソフト事業	351	環境美化・環境保全活動事業	1.4.1.4.1.3	1,407	1,499	1,421	0.20	普通	前年度並み配分	
				831	682	851	1,653			
既存 ソフト事業	352	公害防止・苦情対策事業	1.4.1.4.1.1	0	0	0	0.35	普通	前年度並み配分	
				0	0	0	2,893			
既存 法定事務	353	河川等水質・臭気検査業務・騒音・振動規制事業	1.4.1.4.1.1	1,187	1,998	4,585	0.15	普通	前年度並み配分	
				1,187	1,998	4,585	1,240			
既存 法定事務	531	一般廃棄物処理施設の設置等申請許可事務事業	1.4.1.4.1.1	0	0	0	0.05	低い	前年度並み配分	
				0	0	0	413			
合計				21,165	19,095	15,599	1.50			
				16,109	16,478	15,029	12,398			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	環境活動を行う市民の核組織としての「環境もやい安芸高田」が組織化され、活動を促した。再生可能エネルギーの調査検討は、国の補助事業が不採択となったため大幅に遅れている。太陽光発電システム補助は、パネル価格の低下により、設置件数が増えている。
② 平成25年度以降の課題(事務事業構成、役割分担)	再生可能エネルギービジョンを引き継ぐ詳細調査が必要である。太陽光発電システム補助対象を事業者に拡大して実施することとなるが、システムの低価格化も進展しており、注視しながら実施していく必要がある。
③ 総合評価(今後の展開、事務事業の見直し等)	環境基本計画を推進するための庁内組織の立ち上げ、事業展開を確実に実施し、進捗管理を行うことが必要である。県からの委譲事務に対応するための研修参加など、職員の専門性向上を行う必要がある。

政策への貢献度	高い	市民部	(氏名)	新川 昭夫
---------	----	-----	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成24年度施策）

評価対象 施策名	ごみの減量化・資源化の推進	施策コード	作成者	所属	市民部 市民生活課
		14009		役職・氏名	課長 中村慎吾
				電話	0826-42-1126

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	Ⅲ人と環境にやさしいまちづくり
	主要施策	4.環境との共生

① 住民意識調査結果	環境基本計画策定時に市民アンケート1,000人中469人からの回答を得た。また、14事業者・5団体に環境への取り組み状況や環境問題などヒアリングを実施した。	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果 市民アンケートではごみの分別に対し81%の回答者が重要であると答えている。また、自然環境や生活環境のなどが重要度が高い意見であった。
③ 施策の現状と課題	・北広島町と芸北広域環境施設組合を設置し、ごみ処理を行っている。適正なごみ処理の啓発を通じて、効率的な収集、処理や資源の循環を検討して、ごみ処理体制の整備を行う必要がある。	
④ 施策の意図、今後の展望	・住民のごみについての理解と認識を深め、減量化、リサイクルのための情報提供、資源ごみ回収を推進する。 ・分別収集の徹底のため、指定ごみ袋の使用により住民マナーを向上させる。 ・産業廃棄物の事業者責任を徹底するとともに、県と連携して指導を強化する。	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
住民の理解と認識	資源ごみ回収	★
ごみ減量化	芸北広域環境施設組合へのごみ搬入量	★
産業廃棄物	指導回数	
家庭ごみの適正排出	分別収集の徹底	

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27		
一人1日当たりごみ排出量	目標	598	626	626	626	626		排出量÷(人口×日数)
	実績	626	645	677	—	—		
	達成率	104.7%	103.0%	108.1%	—	—		
資源ごみ回収団体数	目標	120	130	150	150	150		
	実績	122	136	143	—	—		
	達成率	101.7%	104.6%	95.3%	—	—		
立ち入り件数	目標	5	5	5	5	5		
	実績	7	3	3	—	—		
	達成率	140.0%	60.0%	60.0%	—	—		
芸北広域環境施設組合負担金	目標							
	実績	300,337	232,861	238,375	—	—		
	達成率				—	—		

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H23決算	H24決算	H25予算	人員数(H24) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 補助金・負担金	354	芸北広域環境施設組合	1.4.2.1.1.2	230,780	238,375	260,504	0.25	高い	前年度並み配分	
				230,780	238,375	260,504	2,067			
既存 補助金・負担金	355	ごみ減量化対策(資源ごみ補助事業)	1.4.2.1.1.2	7,970	7,867	8,200	0.35	高い	重点配分	
				7,970	7,867	8,200	2,893			
既存 ソフト事業	356	家庭ごみ適正排出事業	1.4.2.1.1.2	117	103	240	0.20	普通	前年度並み配分	
				117	103	240	1,653			
既存 ソフト事業	357	産業廃棄物処理業者指導業務	1.4.2.1.1.3	0	0	0	0.15	普通	前年度並み配分	
				-132	-132	-132	1,240			
既存 補助金・負担金	358	生ごみ処理機補助事業	1.4.2.1.1.2	1,000	700	1,000	0.10	普通	前年度並み配分	
				1,000	700	1,000	827			
合計				239,867	247,045	269,944	1.05			
				239,735	246,913	269,812	8,680			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	資源ゴミの回収団体数と量は年々向上し、学校PTA等の取り組みも広がり市内全域をカバーしており、取り組み可能な地域は、近年頭打ちとなっている。事業系一般廃棄物の増加により、きれいセンターへのゴミ搬入量は増加している。
② 平成25年度以降の課題(事務事業構成、役割分担)	事業系一般廃棄物の増加原因の詳細な把握と、この減量対策を行いゴミの量が減量化を促進する。北広島町での産業廃棄物処分場建設に伴い、関係地域の八千代町上根地域の環境保全協定の締結に向けた調整を支所と連携して行う。
③ 総合評価(今後の展開、事務事業の見直し等)	資源ゴミ回収団体数も増加をしており、ゴミの分別に対する意識も向上してきた。今年度より、廃食油の回収に取り組んでいるが、更なる回収量の増加を目指し、強力な啓発が必要である。

政策への貢献度	高い	市民部長	(氏名)	新川 昭夫
---------	----	------	------	-------